

小学5・6年生 水泳記録会

町内の小学5・6年生の水泳記録会が8月2日(金)、佐賀中学校のプールで開催されました。

当日は天候にも恵まれ、13個の大会新記録が打ち出されるなど、児童らは練習の成果を存分に発揮しました。

5年生男子25m自由形で大会新記録を達成した南郷小学校5年の大林優太さんは、「記録会に向けて練習をたくさん頑張った。大会新記録はとても嬉しい。来年も良い記録が出るように頑張りたい」と話しました。



熱戦が繰り広げられた記録会



世界の料理を通じて国際交流

7月29日(月)、保健福祉センターで「アミーゴキッチン」が開催され、13名が参加しました。

公益財団法人高知県国際交流協会と町教育委員会が主催し、「料理を通じて交流を図り、国際文化に興味・関心を持ってほしい」とブラジルとパラグアイ出身の高知県海外技術研修員の3名が講師となりました。

参加者は、パラグアイで主食のトウモロコシのパウンドケーキなど2品を作り、講師の国の話などを聞きながら料理を食べました。参加した佐賀小学校6年の門田真夢さんは、「切ったり炒めたりして楽しかった。パラグアイのお兄さんとも話せて良かった」と話しました。



料理を作る子どもたち

野村広さん・アモンラックトさん夫妻を講師に招き「ワールドクッキング」が開催され、タイ料理を作りました。

居酒屋「ぶし」開催

7月31日(水)、あったかふれあいセンターこぶしの主催で「居酒屋こぶし」が開催されました。

同イベントは、「地域のさまざまな世代に楽しく交流してほしい」という思いで、年2回開催されています。手作りのお惣菜販売やバー、カラオケ大会が行われ、住民らで賑わいました。また、高知大学地域協働学部の学生が販売などの手伝いで参加し、同大学2年の岡崎真紗紀さんは、「佐賀北部だからできる集まりだと思う。私たちも地域を盛り上げようお手伝いができるよう計画を立てていきたい」と話しました。



バーを楽しむ住民ら

拳ノ川地区から訪れたという女性には、「みんなが集まることで、賑やかな夕食ととても楽しい」と笑顔で話しました。

陶芸教室

8月19日(月)、「芸術・文化に触れる機会を作りたい」と、あったかふれあいセンターさが主催で陶芸教室が行われ、13名が参加しました。

佐賀に工房を構える「日常屋」の清藤弘晃さんを講師に迎え、作り方の説明を受けた後、参加者は粘土を伸ばし型にはめ、思い思いの模様や絵を描くなどし陶器作りを体験しました。

参加した佐賀小3年の敷地未咲さんは、「海の中をイメージした。模様をつける作業がとても楽しかった」と話しました。

清藤さんは、「皆さんに楽しんでもらえて良かった。自分で作った作品は作る喜びもあり、特に大切なものになると思う。できあがったらぜひたくさん使ってもらいたい」と話しました。



世界に1つだけの陶器作り

作品は、12月に四万十市で開催される「合同作品展」に展示される予定です。